



町田通信

Summer Greetings

「10年後の生活費」

for Executives



10年後の生活費を見通すのは容易ではありません。物価や景気はもちろん、近年は税金や社会保険料(非消費支出)の家計(可処分所得)への影響が指摘されています。お子さまがいらっしゃる方なら、国公立と私立どちらに進学するかで資金計画は大きく変わります。

当面は、貯蓄予定の資金を振り向けることで凌げても、そのしわ寄せはじわりと将来に及びます。

「がんばっているうちに」

まだ先のことと目の前のことをがんばっていたら、いつの間に目前に迫っていた、それが老後だと言われます。

老後の資金準備の必要性が言われますが、内閣府の調査(*)では「自身の老後の生活設計について考えたことがない」と答えた人の割合は、50代男性で約3割、同女性で約2割に上ります。また、「考えたことがある」と回答した人も、実際の程度考えたかは同調査では定かではなく、事実、若い方からは「まだ遠い先のこと」とか「教育費の山を乗り越えることが先決」といった声が聞かれ、年配の方でも「先のことはわからない」「どう考えてよいかわからない」という声があるのが実情です。

「算術平均と実際」

下図(**)のような統計データを見ても「実感がわからない」という方は少なくありません。データが多様な家庭を丸ごと足して割った算術平均だからでしょうか。

実際、生活費は老後に何をしてお過ごし、生活水準、お子さま・お孫さんの人数などにも左右されます。

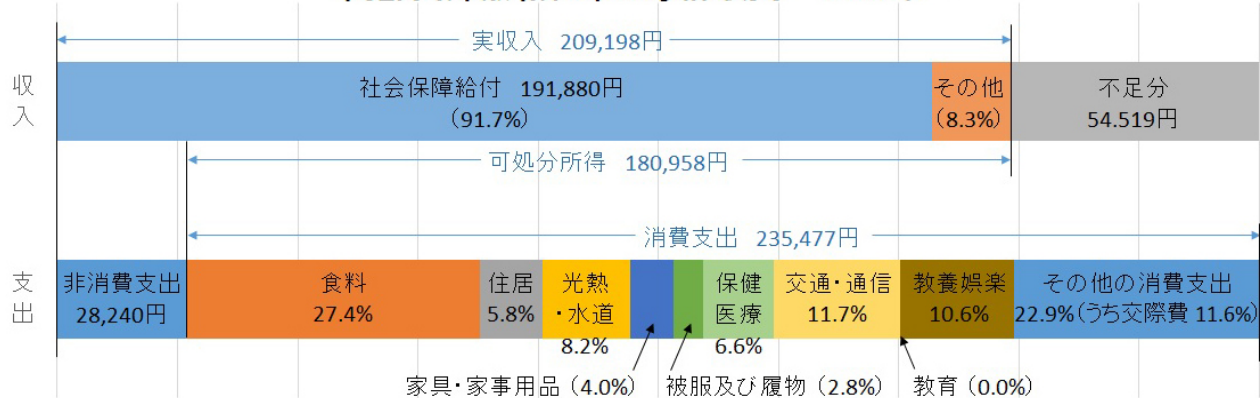
また、下図の「住居」は金額にすると1万3千円強ですが、「管理費と修繕積立金だけでもっと払っている」「定年後住宅ローンが残る」という方はここが膨らみます。

「再雇用制度で定年後も5年は今の職場で働ける」「孫ができれば教育費を援助して子どもの家計を助けたい」「年に1~2度は家族で旅行を楽しみたい」などなど。すこし腕組みしてぜひ試しに余白に書きいれてみてください。

もし、まとまりがつかなくなったり、老後資金に不安を感じたりしたら、私に遠慮なくご相談いただければ幸いです。

(出典)(*)「老後の生活設計と公的年金に関する世論調査」平成31年1月(内閣府)、(**)「家計調査報告(家計収支編)」平成29年(2017年)(総務省統計局)

高齢夫婦無職世帯の家計収支 - 2017年 -



(注) 1. 高齢夫婦無職世帯とは、夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの無職世帯である。2. 図中の「社会保険給付」及び「その他」の割合(%)は、実収入に占める割合である。3. 図中の「食料」から「その他の消費支出」までの割合(%)は、消費支出に占める割合である。

ソニー生命保険株式会社 新宿ライフプランナーセンター第4支社

エグゼクティブ ライフプランナー 町田 信行

住所変更などはありませんか。近況の変化やご要望、ご質問などございましたら私(裏面)までご連絡ください。また、私がお役に立ちそうな方がいらっしゃいましたらぜひご紹介いただけますようよろしくお願いいたします。



下座の争奪戦

「どうぞ奥の席に」「いえいえ、私はこちらで。どうぞ奥に」そんな下座を取り合うシーンを時折り目にします。

気が置けない間柄なら、それも微笑ましいやりとりのひとコマですが、それほどでもない間柄だと、お互い気が気ではないかもしれません。

「部屋のなかの席次」

部屋のなかでの席次の基本は、出入り口から離れた奥の席が上座、手前が下座です。床の間がある場合は床の間を真後ろにした席が上座、美しい庭園や夜景などを楽しめる場合は眺めが良い席が上座です。

「堅苦しくなる」

席次のマナーは、自分が座る場所によって目上の人に敬意を払ったり、お客さまにおもてなしの気持ちを表したりするものです。接待をする立場や、かしこまった席で目上の人と同席する場合は基本通りにすれば間違いがありません。

しかし、はっきりとした上下関係がなくて、初対面など親しい間柄ではない場合は、堅苦しくならない程度にさりげなく相手に上座を勧めるのがスマートです。相手がマナーを意識していないこともあるので、こちらがマナーを意識していることをアピールする必要はありません。

たとえば、ジェスチャーでさりげなく奥の席を勧めたり「こちらの席のほうが眺めがよさそうですよ」などと促したり

するとよいでしょう。

また、出入りしやすい手前の席を好む方もいらっしゃいますし、窓際は外気の影響を受けるため好まない方もいます。上座下座より、そうした相手の希望に配慮するほうがむしろマナーの基本にかなっているとも言えます。

その結果、自分が上座になりどうしてもそれが気になる時は「私が奥の席では少し気が引けてしまいますが…」などとひと言添えるなどすればよいでしょう。

「乗り物では」

タクシーでは、運転席の真後ろの席が上座ですが、もしその相手の足腰の調子が悪い、あるいは奥の席に移動がしにくい服装だったらどうでしょう。

その場合は「手前の席の方が乗り降りしやすいと思いますが…」とか「奥は乗り降りが大変だと思うので私が先に…」と言ってみるのもよいでしょう。

また、新幹線や飛行機などでは、窓側(上座)より通路側を好む方もいらっしゃいます。いずれにしても、相手の好みや希望に配慮します。

「相手を大切に」

かしこまった席を除いては、上座下座にこだわらず相手の希望や好みに配慮する気配りを言葉などで示せば十分でかつスマートです。



【講師紹介】茂木 ゆみ (Excellent Heart 代表)

国内航空会社にグランドスタッフとして通算 17 年間勤務。皇族、国会議員、大手企業トップ等の VIP 接遇を 4 万回以上経験する。現在は企業向けのマナー講師、個人向けの品格アップ・パーソナルコンサルタントとして活動中。

こんな時はご連絡をお願いいたします

皆さまのライフプランや事業プランをお守りするために、次のようなときは、私までご連絡をお願いいたします。

●各種手続きや保障内容の見直しなどのお手伝いをいたします。

- 保険金・給付金等の請求手続きが必要
- 入院／手術／退院(含予定)
- 災害や事故などに遭遇(または心配)
- ご結婚／ご出産／入進学／転居(含予定)
- 昇進／転勤／転職／起業(含予定)
- 年金／相続／介護について話を聞きたい

- 保障内容を確認／見直したい
- 紹介して欲しい人／提供し欲しい情報がある
- 紹介したい人がいる
- 事業拡大や事業承継のご計画(法人様)
- 福利厚生制度／役員の保障のご相談(法人様)
- 企業のリスク洗い出しのご相談(法人様)

●その他

ご質問やご要望、悩みごとなどございませんか。近況なども気軽にお聞かせいただければ幸いです。

(差出人・連絡先)

ソニー生命保険株式会社

新宿ライフプランナーセンター第4支社

エグゼクティブ ライフプランナー

町田 信行

掲載内容等に関するお問い合わせは私まで。

〒151-0053

渋谷区代々木 2-1-5

JR 南新宿ビル 18F

TEL: 03-5358-1704 FAX: 03-5358-1724

携帯: 090-3681-3416

メール: NOBUYUKI_MACHIDA@sonylife.co.jp

<http://2way.ne.jp/SL/MachidaNobuyuki/>

